

全国キャラバン・連鎖集会

ニュース速報

発行：国鉄労働組合
東京都港区新橋 5-15-5
TEL 03-5403-1641
2006年5月26 第36号

各地方のキャラバンの取組み

東京地方本部



発行元の雑誌は
国鉄に定例で送ります

発行元
国鉄労働組合本部
発行所
国鉄労働組合本部
編集責任者
平野啓祐

号 外
キャラバン・特報号④

06年5月26日

政府の決断で1047名の救済を！

「キャラバン行動要約集会」

五月二十六日(金) 18時30分、日暮野青年会堂

キャラバン第一週も順調！

五月二日の都内キャラバン行動は五月清れの晴天のもと新宿駅西口宣伝行動から始まった。

開始時間の10時30分には、駅前に各地区本部・支部の組合員が絡々と結集。500名を超える参加者が横断幕を掲げ、手を配りハンドマイクを使いながら、運動、選挙や買い物で行き交うJR利用者には「不採用事件の早期解決」を訴えた。

宣伝行動は山本注村部長の司会で始まり、都内キャラバン行動の主催者を代表し東京地方本部委員長が挨拶、上野闘争団からは札幌の清水さん、秋別の津島さん、博多の栗原さん、小倉の中村さんが「九州や北海道でJR不採用心なり家裏と共に闘い続けてきた。二〇年目の今年こそ解決を」と訴えた。

東京闘争団長の新山さんに続き、最後にマイクを握った東日本エリア本部の山根執行委員は「JR乗込後二〇年で安全も脅かされている」と、分割民営化の矛盾と問題を指摘し不採用事件の早期解決を訴えた。



午後からは厚生労働省前に移動し宣伝行動を行った。

当日は「原簿査定訴訟団」が朝から一日の厚生労働省前に座り込み行動を実施していたが、快く宣伝行動時間をも配慮していただいた。

中野執行委員の司会ではしほり風部委員長の主催者挨拶に続き、都内キャラバン行動の活動に来ていただいた、都分連の安増副委員長、全労協の選挙副議長、東京地評の伊藤事務局長、東京平和運動センターの関事務局長から挨拶があり、闘争団を代表し秋別の清野さんが厚生労働省に早期解決を求め訴えた。

宣伝行動の最後は小倉闘争団の中村さんの苦闘で団結がんばろうを三唱し、二三区内オール行動に移った。



新宿駅西口での宣伝行動

「救済を早く」

二四日10時30分から、池袋駅東口の宣伝行動が取り進められた。

青島組連部長の司会で始まり、山本法務部長が挨拶、札幌・清水、博多・栗原、秋別・津島、小倉・中村、各闘争団員からの訴えなど約30名で行動した。両者とも、「組合ごうしの分割民営化」「一日も早く解決を」「最後まで国鉄労働者として働き続けた」「早く元の職場に帰りたい」と二〇年間の思いを訴えた。最後に、江田輝河部長が力強く訴えると、「長い間頑張っていますね」と婦人から五十円のカンパをいただいた。

午後の行動として、二時三十分から厚生労働省前で宣伝行動を取り組み、阿部委員長は「政府の解決に何けた決断を求める」と主催者挨拶、中央共闘から中里議長、全労協から藤村議長と連帯に駆けつけられ、「早二〇年の取り組み。多くの地方自治体は解決を望んでいる」「二〇四七名が路頭に迷い、組合差別も残っている。今が解決の時、共にがんばろう」と選挙の挨拶をいただいた。

最後に小倉闘争団の中村さんが「闘争の責任はJR不採用事件の解決を！」と訴え、終了した。

※ 本誌掲載先通知(五月二十五日現在)

東京青労組 委員長
全水連東水労 委員長
全労協全国一般東京労組 副委員長